

平成20年度 総合的な学習の時間 全体計画

八王子市立横川小学校

子どもの実態
 ・明るく元気で、活発な子どもが多い。
 ・意欲的な子どもがいる反面、自分を表現することが苦手な子どもも多い。
 教師の願い
 ・自分の課題をもち、表現する力をもつ。

学校の教育目標

- ・自分から貸す済んで学ぶ子ども
- ・からだをきたえる子ども
- ・思いやりのある子ども

総合的な学習の時間のねらい(学習指導要領)

- (1)自ら課題を見つけ、自ら学び、自から考え、主体的に判断し、よくよく問題を解決する能力を育てること。
- (2)学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにすること。
- (3)各教科で身に付けた知識や技能を相互に関連付け、それらを学習や生活に生かし、総合的に働くことができるようにする。

全校での共通理解事項

本校の総合的な学習の時間

目指す授業像

学校全体での取り組み
 ・人や自然の関わり合いの中で「生命」を大切に学習を全学年で行う。
 学年での取り組み
 ・ゲストティーチャーとともに豊かな体験活動をする。
 ・異文化理解、英語活動、食育、環境教育

人や自然との関わり合いの中で、「生命」を大切に学習を行う。

	3年	4年	5年	6年
	・物事に対して興味・関心をもち、「なぜだろう」と疑問をもつ。 ・既習の知識、技術を通して疑問をもったことを調べたり、発表したりする。	・自然や環境に興味・関心をもち、課題を見つける。 ・課題解決のために資料を収集したり、利用する。 ・学習したことを発表し、生活に生かす。	・様々な人々との交流を通して、多様な考え方や生き方があることに気付く。 ・自ら課題をもち、予想や仮説を立てて計画的に追求する。	・自らの課題を見だし、学習計画を立てて追求したりする。 ・自らの活動を振り返り、自分の生き方について考える。

コミュニケーション能力の育成
 ・人の話をよく聞く。
 ・いろいろな知識を蓄える。
 ・他の人の理解に努める。

 プレゼンテーション能力の育成
 ・自己の考えや意見を明確に伝える。

内容・単元

教科との関連(主なもの)

関係機関との関連

	3年	4年	5年	6年
1 学期	・カイクを育てよう(地域・環境) ・ひまわりを育てよう(環境)	・ゴーヤを育てよう(地域・環境) ・仲間作り ・国際交流	・稲を育てよう(地域・環境) ・国際交流 ・静岡を調べよう	・日光を調べて知らせよう ・国際理解 ・薬物の怖さを知ろう
2 学期	・横川小祭り ・国際理解教育 ・学年間交流	・横川小祭り ・ゴーヤ料理をしよう(食育) ・外国の国々調べ(国際交流) ・英語活動	・横川小祭り ・安全マップを作ろう ・収穫祭を使用	・日光を調べて知らせよう ・シニアシュミレーション ・生命について ・横川小祭り
3 学期	・八王子の織物(地域)	・私たちの誕生 ・英語活動 ・体と命	・味噌を造ろう ・生命について ・6年生へのプレゼント作り	・生命について ・感謝の気持ちをこめて

内容・単元の関連

(国語)
 ・調べたことを発表しよう。
 ・子ども環境会議を開こう。(社会)
 ・水産業の盛んな地域を訪ねて。
 ・まちたんけん。(理科)
 ・季節と生き物、春夏秋冬。(体育)
 ・育ちゆ体とわたし。(家庭)
 ・家族と家庭。

特別活動・学校行事、道徳との関連

評価規準

重点のみ

(学校行事)
 ・外国人の方々を迎えて
 ・移動教室(5.6年)
 (道徳)
 ・生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にする。
 ・外国の人々や文化を大切にすることをもち。
 ・日々の生活が人々の支えや助け合いで成り立っていることに感謝する。
 (特別活動)
 ・横川小祭り

観点	3年・4年	5年・6年
求 課 題 する 力を 追	・体験したことを通して、疑問や関心をもち、課題を見つける。 ・課題に対する自分なりの予想を立てる。	・様々な地域や事柄について、学習課題をもち、追求する。
す 情 報 力 を 活用	・調べる方法を工夫しながら、最後まであきらめずに追求する。 ・課題に添った手段を選び、調べる。	・課題追求の方法や、情報の効果的な活用を考える。
表 現 する 力	・学習してきたことを振り返り、自分なりの成果や課題をまとめる。 ・発表の仕方を工夫し、相手に伝える。	・自分が調べたことを、分かりやすく伝える方法を選んで、効果的にまとめ発表する。
応 用 する 力	・自分を取り巻く環境や様々な人々に目を向け、自分とのつながりに気付く。 ・学んだことを、自分の生活の中に生かす。	・学習の中で身に付けた知識・技能・判断力・態度などを、自分の生活の中で生かす。

育てたい資質・能力の関連

(国語)
 ・調べたことなどを相手に分かるように話す。
 ・相手や目的に応じて、伝えたいことや表現方法を工夫する。(社会)
 ・観察、聞き取りなどの調査を行い、予想を確かめる。
 ・地域社会の一員としての自覚や地域に対する愛情を持つ。(理科)
 ・観察や実験等により得られた情報を図やグラフにまとめる。(図工)
 ・身の回りの再利用できるものを自分で工夫して、生活に役立てる。(家庭)
 ・学習したことや体験したことを生活の中で生かす。

評価方法

その他

観察活動 ・調査活動 ・役割、発言 ・準備の進め方	作品分析 ・学習カード ・ノート ・ポートフォリオ	自己ノート ・自己評価 ・相互評価 ・外部評価	聞き取り調査 ・課題設定 ・まとめ方	意識調査 ・課題のもち方 ・問題解決のための手だて	・学年目標に沿って共通理解を図り、達成するための学年合同会議や指導の確認をする。 ・保護者や地域の方々との連携、協力の依頼と事後のお礼をする。 ・全体年間指導計画のファイルを保管し、次年度につなげる。
------------------------------------	------------------------------------	----------------------------------	--------------------------	---------------------------------	--